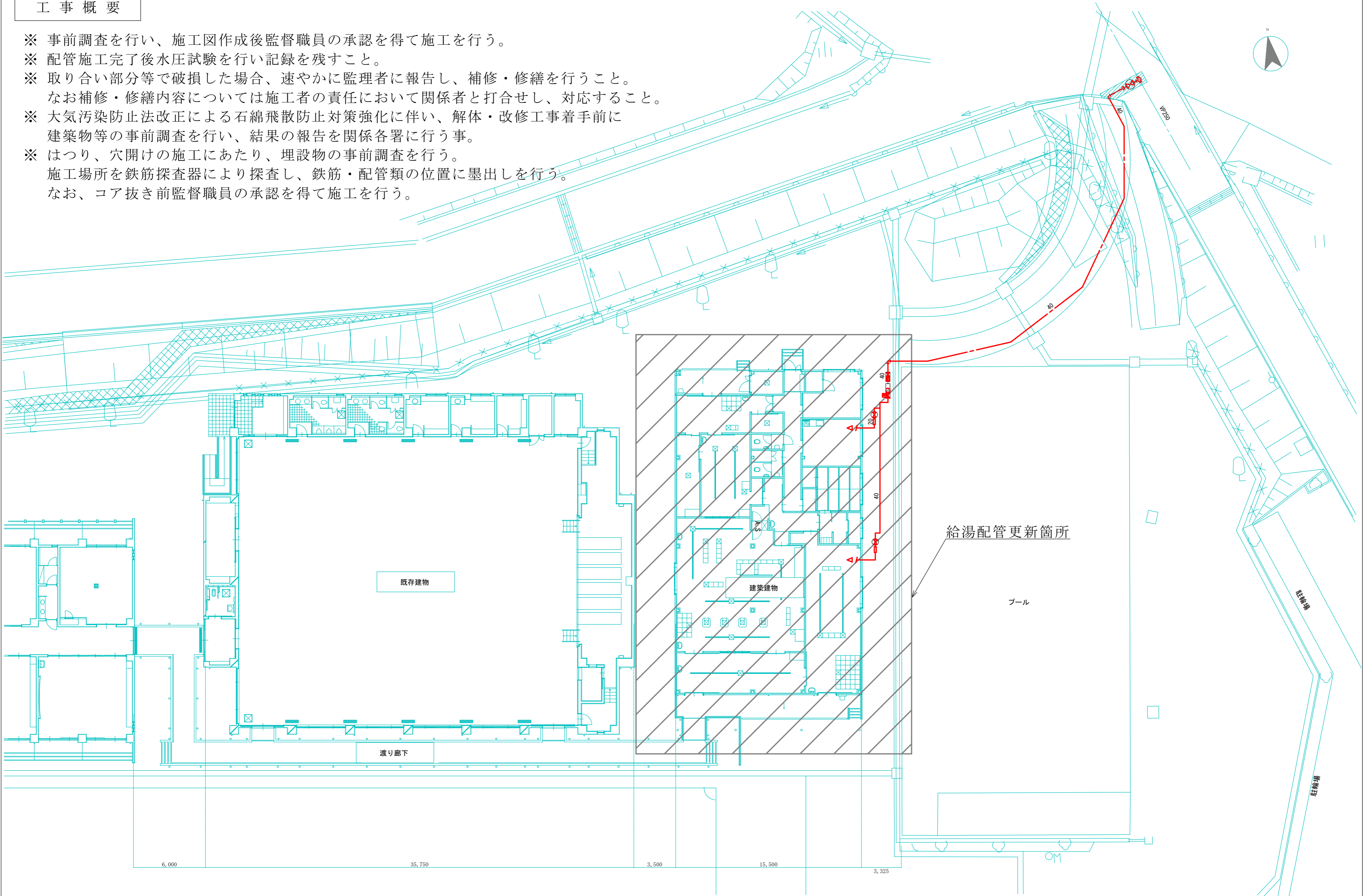


機 械 設 備 特 記 仕 様 書

工事名称		棟 名	構 造	階 数	延床面積 (㎡)	備 考																																																														
日高村学校給食共同調理場給湯管更新工事		中学校	S 造	1	406.0	消防法施行令別表第一の区分(7) 項																																																														
設計年度(設計図) 2023年度				戸 数																																																																
工事期間(完成図) 年 月 日～ 年 月 日				1																																																																
I 共通事項																																																																				
種 目	項 目	特 記 仕 様 (● 印をつけたものを適用する)																																																																		
一 仕 般 共 通 様	残 土 処 分 埋 設 深 さ (管 上) 埋 設 管 の 保 護 コンクリート工事／骨材 は っ り 工 事 土 間 配 管 の 支 持 ス リ ー プ 適 用 仕 様	○ 構外搬出 ○ 構内敷ならし ○ 構内指示の場所にたいせき ○ 一般敷地300mm以上 ○ 車道通路600mm以上 ○ 公道800mm以上 ○ 公道1,000mm以上 ○ 公道1,200mm以上。 ○ 埋設管は周囲100mm程度に保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。 ○ 量水器以降の埋設給水管はクイックチューブ等で巻く。 ○ 本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する。 ● 既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 ○ 一階土間コンクリート下部配管はステンレス吊りボルトにてスラブ筋に支持する。 ● 国土交通省仕様 (例：外壁の地中部等 水密を要す部分はか付鋼管ｽﾘｰﾌ等。地中部で水密を要しない部分はVPｽﾘｰﾌ。柱、梁以外の箇所で、開口補強が必要でｽﾘｰﾌ径200mm以下は紙ｽﾘｰﾌでもよい。) ● 特記なき事項は「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編 最新版)」 (但し改修工事の場合は、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編 最新版)」)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 最新版)」による。 ● 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「工事写真の撮り方(改訂第二版) 建築設備編」 ○ 国土交通省仕様 ● メーカー仕様 ● 屋外及びビッド内配管の支持金物・吊り金物はSUS製又は亜鉛ﾌﾞﾛﾝ漬とする。機器固定ｷｬｯﾄはﾓﾝﾀﾞｷﾞｬｯﾄ又は2重ｷｬｯﾄとする。 ○ 共用区画の消防検査受検必要 ● 「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説・令和3年度版」(国土交通省大臣官房庁営繕部監修)によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針」 (国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修 2014年版)による。 建物の種別: ○特定の施設 ●一般の施設 地域係数: ○1.0 ●0.9 1) 設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。 特記なき場合の設計用標準水平震度は次による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr> <tr> <th>設置場所</th><th>機器種別</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">上層階 屋上及び塔屋</td><td>機 器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr> <tr> <td>防振機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr> <tr> <td>水 槽 類</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr> <tr> <td rowspan="3">中層階</td><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr> <tr> <td>防振機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr> <tr> <td>水 槽 類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr> <tr> <td rowspan="5">地階・1階</td><td>機 器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr> <tr> <td>防振機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr> <tr> <td>水 槽 類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr> </tbody> </table> 重要機器 防災機器 火を使用する機器 タンク類 消火設備機器							特定の施設		一般の施設		設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0	中層階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6	地階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6		
		特定の施設		一般の施設																																																																
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																															
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																															
	防振機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																															
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																															
中層階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																															
	防振機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																															
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																															
地階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																															
	防振機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																															
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																															
	機 器 類 そ の 他 耐 震 措 置																																																																			
	建設副産物 技能士の適用 完成図の提出方法	2) 設計用鉛直地震力は設計水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 ○ ｱｽﾌﾙﾄ、ｱｽﾌﾙﾄ路盤は原則として再生品を使用する。 ○ 浄化槽・樹類の砂利地業は原則として再生ｸﾗｯｼｮﾝを使用する。(ｱｽﾌﾙﾄ再生品混じりは不可) ○ 配管施工(配管工事) ○ 熱絶縁施工(保温工事) ○ 建築板金施工(ﾀﾞｲﾔﾑｰﾀﾞｰ製作及び取付) ○ 冷凍空調調和機器施工 ○ その他－ ● CADデーターをCD-R保存して提出。 ● 画像データ(PDF形式) ○ A4版黒表紙金文字製本 1部 ● 2ツ折りA3版製本 1部																																																																		
配 管	① 配管用炭素鋼鋼管【SGP黒管】(JIS G 3452)	⑬ 外面被覆鋼管【M】(JIS H 3330)	⑳ 鉛管(HASS 203)																																																																	
	② 配管用炭素鋼鋼管【SGP白管】(JIS G 3452)	⑭ 水道用硬質塩化ビニル管【HVP】(JIS K 6742)	㉑ 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741)																																																																	
	③ 水道用硬質塩化ビニル管【鋼管【SGP-VA】(JWWA K 116-WSP 011)	⑮ 耐衝撃性硬質塩化ビニル管【HIVP】(JIS K 6742)	㉒ 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741)																																																																	
材 料	④ 水道用内外面硬質塩化ビニル管【鋼管【SGP-VD】(JWWA K 116)	⑯ 水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管【RR-VP】(JWWA K 127)	㉓ 耐火二層ビニル管【内管VP】																																																																	
	⑤ 水道用ｶﾞﾗｽﾌｨﾚﾝ粉体ﾌﾗｲﾝｸﾞ鋼管【SGP-PA】(JWWA K 132-WSP 039)	⑰ 水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管【RR-HIVP】(JWWA K 129)	㉔ 銅形管【ｺｰﾐﾝｸﾞ】(JANAS K-3)																																																																	
	⑥ ｶﾞﾗｽﾌｨﾚﾝ外面被覆鋼管【黒管】	⑱ 水道用ｶﾞﾗｽﾌｨﾚﾝ管(JIS K 6762)	㉕ ｴｰﾑ管(JIS A 5372)																																																																	
材 料	⑦ 水道用耐熱性硬質塩化ビニル管【鋼管【SGP-HVA】(JWWA K 140)	⑲ 耐熱性硬質塩化ビニル管【HTVP】(JIS K 6776)	㉖ 冷媒用被覆鋼管																																																																	
	⑧ 内外面耐熱性硬質塩化ビニル管【鋼管【SGP-WHTLP】	㉚ 架橋ｶﾞﾗｽﾌｨﾚﾝ管(JIS K 6769)	㉗ 塩化ビニル外面被覆鋼管【ｶﾞｽﾌﾗｲﾝｸﾞﾘｰﾝ内管JIS G 3452】																																																																	
	⑨ 一般配管用ｽﾍﾟｰｽ鋼鋼管【SUS 304 TPD】(JIS G 3448)	㉛ ｶﾞﾗｽﾌｨﾚﾝ管(JIS K 678)	㉘ ｶﾞｽ用ｶﾞﾗｽﾌｨﾚﾝ管(JIS K 6774)																																																																	
材 料	⑩ 配管用ｽﾍﾟｰｽ鋼鋼管(JIS G 3459)	㉜ 排水用硬質塩化ビニル管【D-VA】(WSP 042)	㉙ 保温付ドレンパイプ																																																																	
	⑪ 水道用ｶﾞﾗｽｸﾚｰｽ鋼鋼管(JWWA G 113)	㉝ 排水用ｸﾞﾚｰｽ ｷﾞﾗｽ塗装鋼管【SGP-TA】(WSP 032)	㉚－																																																																	
	⑫ 鋼管【M】(JIS H 3300																																																																			

工 事 概 要

- ※ 事前調査を行い、施工図作成後監督職員の承認を得て施工を行う。
- ※ 配管施工完了後水圧試験を行い記録を残すこと。
- ※ 取り合い部分等で破損した場合、速やかに監理者に報告し、補修・修繕を行うこと。
なお補修・修繕内容については施工者の責任において関係者と打合せし、対応すること。
- ※ 大気汚染防止法改正による石綿飛散防止対策強化に伴い、解体・改修工事着手前に建築物等の事前調査を行い、結果の報告を関係各署に行う事。
- ※ はつり、穴開けの施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。
施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行う。
なお、コア抜き前監督職員の承認を得て施工を行う。



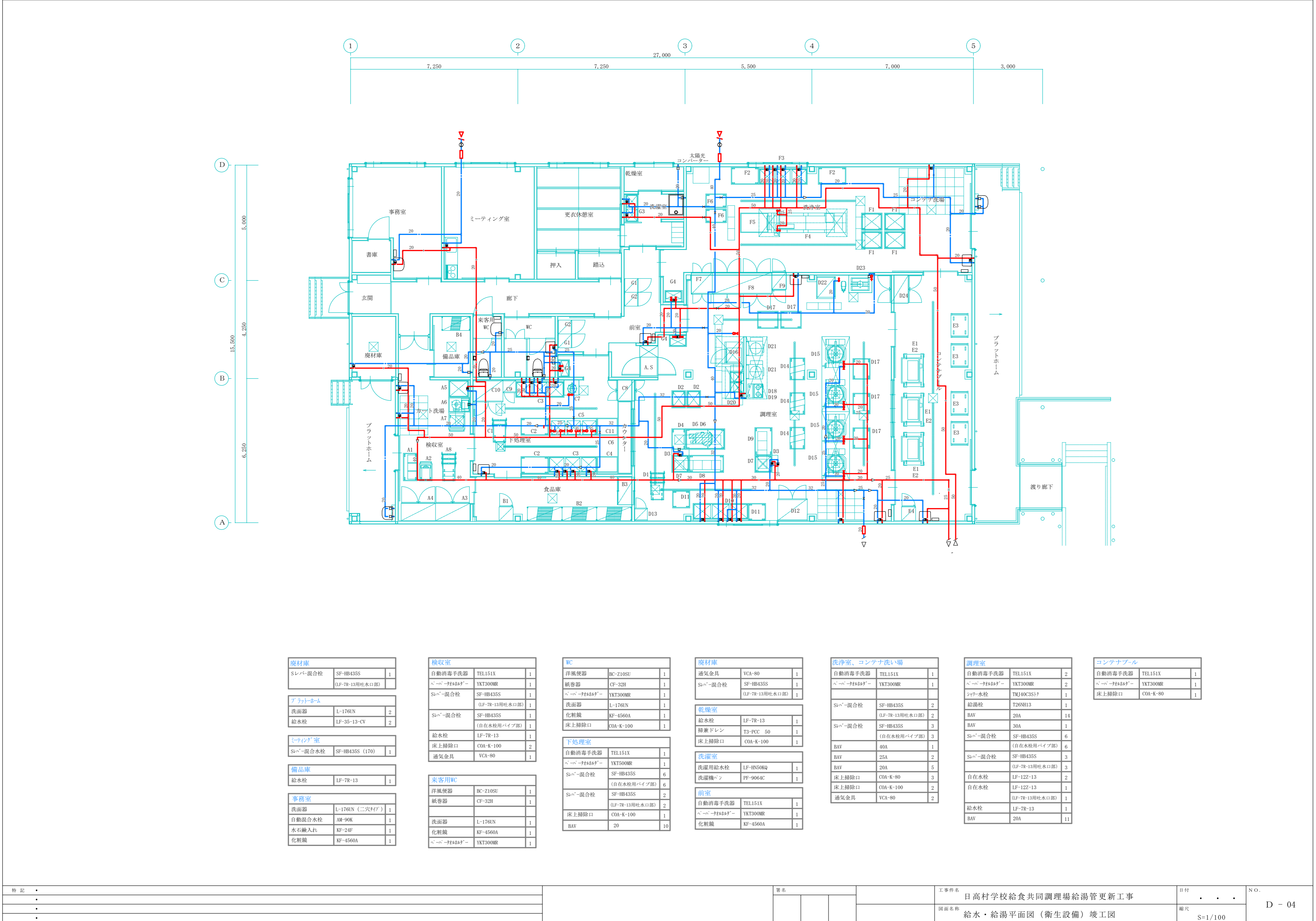
特 記		署名		工事件名	日付	NO.
				日高村学校給食共同調理場給湯管更新工事	・ ・ ・	
				図面名称	縮尺	
				配置図（衛生設備）	S=1/200	

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	台	備 考	メ-カ-、型式
WHE-1	エコ給湯システム	業務用エコ給湯 (貯湯運転) 定格加熱能力40.0kw 温水流量10.2L/min 消費電力11.1kw (保温運転) 加熱能力15.8kw 温水流量17.0L/min 消費電力11.7kw 基礎は別途建築工事 部材 入水配管セット：Q-1VC×1 貯湯槽用貯湯量センサー：Q-1SC (配線、配管共) ×1 遠方表示用無電圧接点基盤：Q-2SB×1 減圧弁：Q-3V×1 給湯リモコン：RP-8QA (取付、配線、入線共) ×1 配管電気工事 貯湯槽 溶接組立型SUS製複合板ハット形状 2.0×2.0×2.0mH (呼称8m3) 保温厚60mm 外装7mmラッキング 耐震1.5G スロッシング対応 亜鉛ドブ漬け鉄骨架台 梯子 (外：亜鉛ドブ漬け、内：PVC) 通気口100A 施錠式マンホ-ル600φ エコ給湯循環配管口 2次側給湯循環配管口 オ-パ-フロ-100A ト-レン50A ホ-ルトナットはSUS製 基礎は別途建築工事	1	屋外	三菱電機 QAHV-N560C
PU-1	加圧給水ポンプ 受水槽付	SUS製インパ-ター吐出圧一定給水ポンプ 単独運転 20φ×15L/min×5mH 1φ100V×150W 制御盤 流量スイッチ 圧力センサー 7キュームレータ 樹脂製カバー共 FRP製受水槽500L ホ-ルタップ 吸込管 レベルスイッチ 防虫網付オ-パ-フロ-管 ト-レン管共 FRP製受水槽用専用架台	1	屋外	川本製作所 NF2-150S
PHW-1	給湯ポンプ	SUS製ライポンプ 32φ×120L/min×20mH 3φ200V×1.5kw	1	屋外	川本製作所 PSS-326-1.5
GT-1	グリーストラップ	FRP製 ハイプ式地中埋設専用 本体容量160L 嵩上げ材H=300 SUS製蓋 (蓋枠共) バスケット取出し用フック コンクリート補強 (ペ-ス・周囲・スラブ) t=150 配筋D10@200シングル ペ-ス砕石敷きt=150	1	屋外	下田エコテック SK-100S-RDA

衛生器具リスト		
洋風便器	BC-Z10SU	BC-Z10SU、DT-Z450U、CW-E74QC
洗面器	L-176UN	AM-90, LF-105PA, KF-30DN, SF-10E, KF-24F
自動消毒手洗器	TEL-151X	
シャワー水栓	SF-HB435S	クリックシャワーヘッド、A-400
シャワー水栓	SF-HB435S	クリックシャワーヘッド、A-442
ペ-ーパータオルホルダー	YKT300MR	

汚水樹リスト									
記号	種 類	タイプ	本管径	樹 径	管 底 現地GL	蓋			備 考
Ⓑ	ビ-ニ-ス	90Y	100	200	-720	防護ハット200A	止水キャップ	クサリ付	T-8
Ⓒ	ビ-ニ-ス	90Y	100	200	-730	防護ハット200A	止水キャップ	クサリ付	T-8
Ⓓ	ビ-ニ-ス	90L	100	200	-810	防護ハット200A	止水キャップ	クサリ付	T-8
Ⓔ	ビ-ニ-ス	90L	100	200	-850	防護ハット200A	止水キャップ	クサリ付	T-8
Ⓕ	ビ-ニ-ス	90L	100	150	-550	防護ハット150A	止水キャップ	クサリ付	T-8
Ⓖ	ビ-ニ-ス	90Y	125	200	-610	防護ハット200A	止水キャップ	クサリ付	T-8
Ⓗ	ビ-ニ-ス	DRY	150	200	-860	防護ハット200A	止水キャップ	クサリ付	T-8

雨水樹リスト					
記号	種 類	大きさ	管 底 現地GL	蓋	備 考
①	RC-1	450口	-350	CA-S 450	350H
②	既製品樹	350口	-300	CB-S 350	
③	既製品樹	450口	-360	CB-S 450	
④	既製品樹	450口	-390	CB-S 450	
⑤	既製品樹	450口	-430	CB-S 450	



魔材庫		
Sレバ-混合栓	SF-HB435S	1
(LF-7R-13用吐水口部)		
プラントホーム		
洗面器	L-176UN	2
給水栓	LF-35-13-CV	2
ミーティング室		
Sレバ-混合水栓	SF-HB435S (170)	1
備品庫		
給水栓	LF-7R-13	1
事務室		
洗面器	L-176UN (二穴タイプ)	1
自動混合水栓	AM-90K	1
水石輸入れ	KF-24F	1
化粧鏡	KF-4560A	1

検収室		
自動消毒手洗器	TEL151X	1
ペ-ペ-消毒器	YKT300MR	1
Sレバ-混合栓	SF-HB435S	1
(LF-7R-13用吐水口部)		
Sレバ-混合栓	SF-HB435S	1
(自在水栓用パイプ部)		
給水栓	LF-7R-13	1
床上掃除口	COA-K-100	2
通気金具	VCA-80	1
来客用WC		
洋風便器	BC-Z10SU	1
紙巻器	CF-32H	1
洗面器	L-176UN	1
化粧鏡	KF-4560A	1
ペ-ペ-消毒器	YKT300MR	1

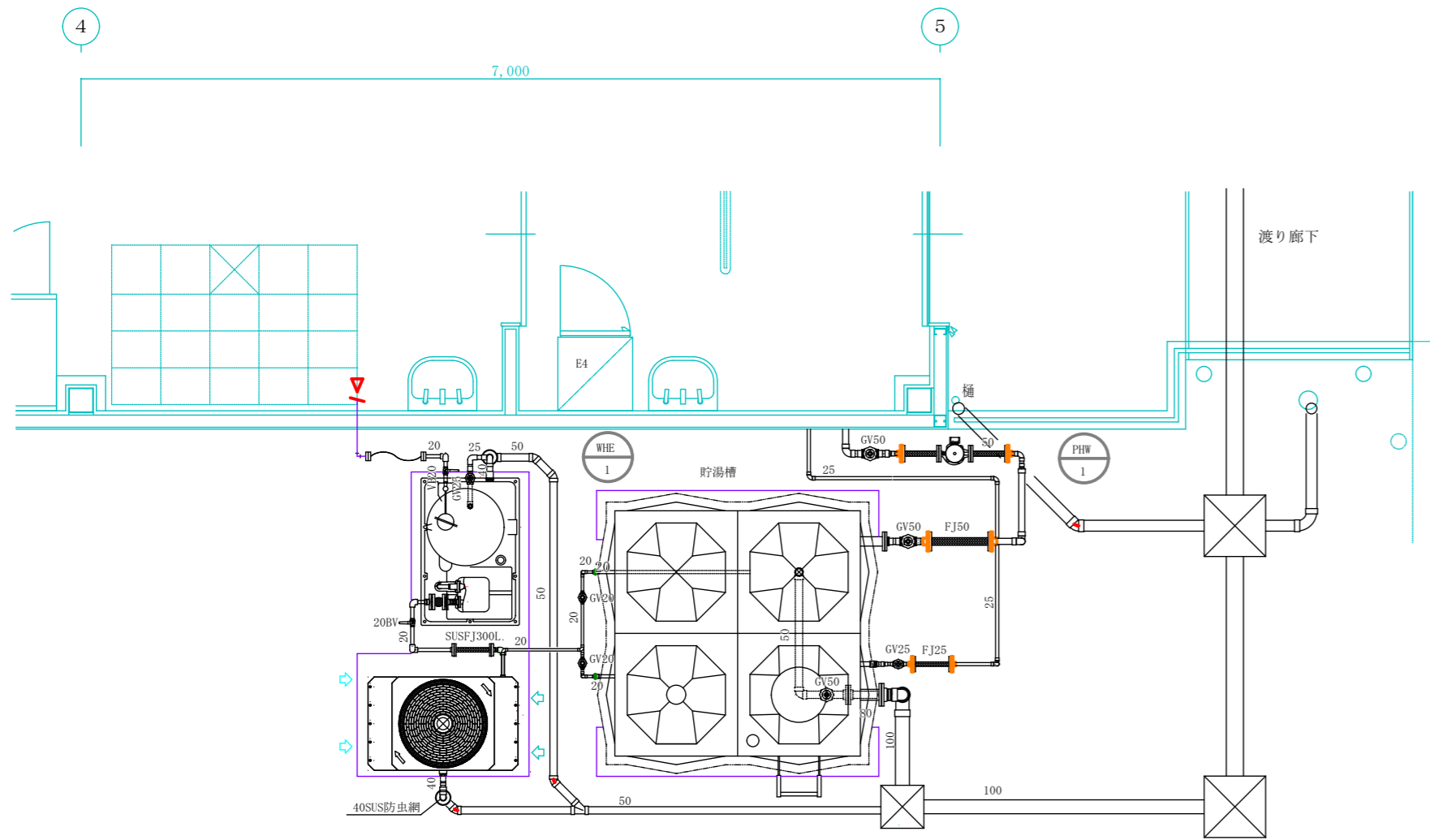
WC		
洋風便器	BC-Z10SU	1
紙巻器	CF-32H	1
ペ-ペ-消毒器	YKT300MR	1
洗面器	L-176UN	1
化粧鏡	KF-4560A	1
床上掃除口	COA-K-100	1
下処理室		
自動消毒手洗器	TEL151X	1
ペ-ペ-消毒器	YKT500MR	1
Sレバ-混合栓	SF-HB435S	6
(自在水栓用パイプ部)		
Sレバ-混合栓	SF-HB435S	2
(LF-7R-13用吐水口部)		
床上掃除口	COA-K-100	1
BAV	20	10

魔材庫		
通気金具	VCA-80	1
Sレバ-混合栓	SF-HB435S	1
(LF-7R-13用吐水口部)		
乾燥室		
給水栓	LF-7R-13	1
排兼ドレン	T3-PCC 50	1
床上掃除口	COA-K-100	1
洗濯室		
洗濯用給水栓	LF-HN50KQ	1
洗濯機ベン	PF-9064C	1
前室		
自動消毒手洗器	TEL151X	1
ペ-ペ-消毒器	YKT300MR	1
化粧鏡	KF-4560A	1

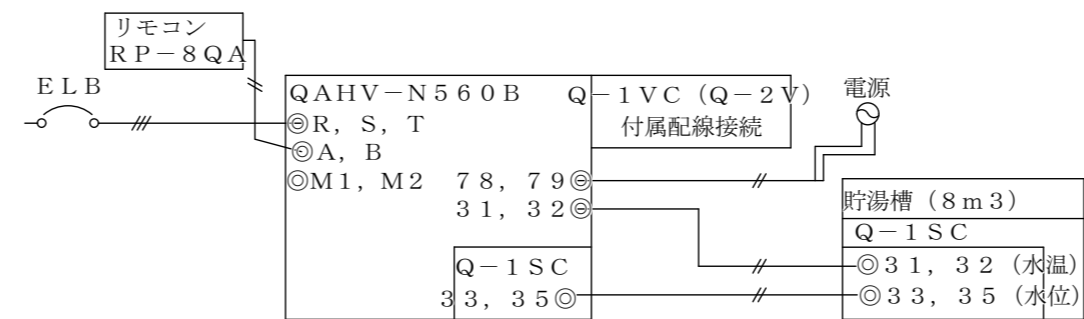
洗浄室、コンテナ洗い場		
自動消毒手洗器	TEL151X	1
ペ-ペ-消毒器	YKT300MR	1
Sレバ-混合栓	SF-HB435S	2
(LF-7R-13用吐水口部)		
Sレバ-混合栓	SF-HB435S	3
(自在水栓用パイプ部)		
BAV	40A	1
BAV	25A	2
BAV	20A	5
床上掃除口	COA-K-80	3
床上掃除口	COA-K-100	2
通気金具	VCA-80	2

調理室		
自動消毒手洗器	TEL151X	2
ペ-ペ-消毒器	YKT300MR	2
シャワー水栓	TMJ40C3スト	1
給湯栓	T26NH13	1
BAV	20A	14
BAV	30A	1
Sレバ-混合栓	SF-HB435S	6
(自在水栓用パイプ部)		
Sレバ-混合栓	SF-HB435S	3
(LF-7R-13用吐水口部)		
自在水栓	LF-12Z-13	2
自在水栓	LF-12Z-13	1
(LF-7R-13用吐水口部)		
給水栓	LF-7R-13	1
BAV	20A	11

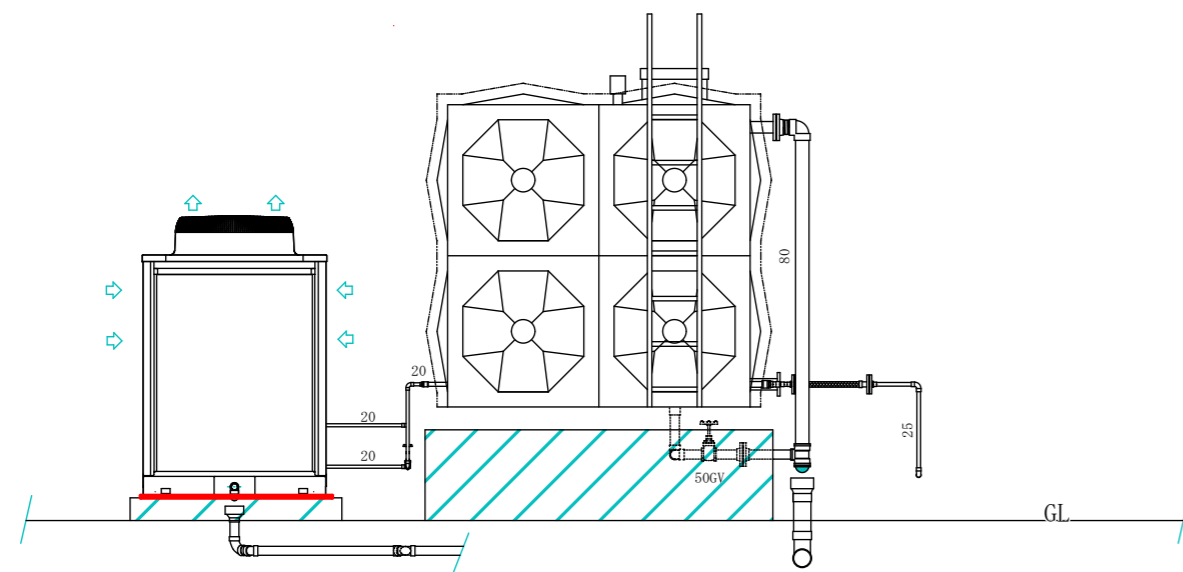
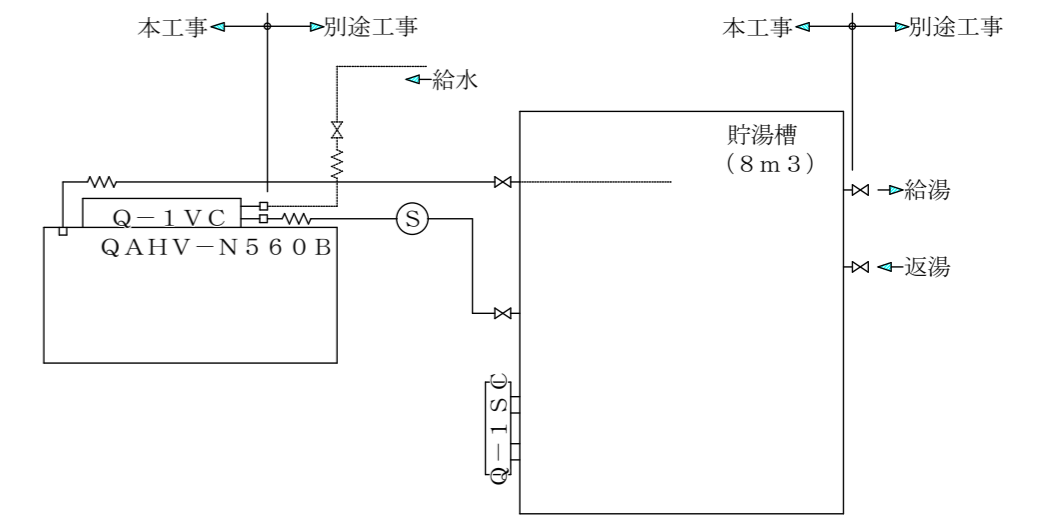
コンテナプール		
自動消毒手洗器	TEL151X	1
ペ-ペ-消毒器	YKT300MR	1
床上掃除口	COA-K-80	1



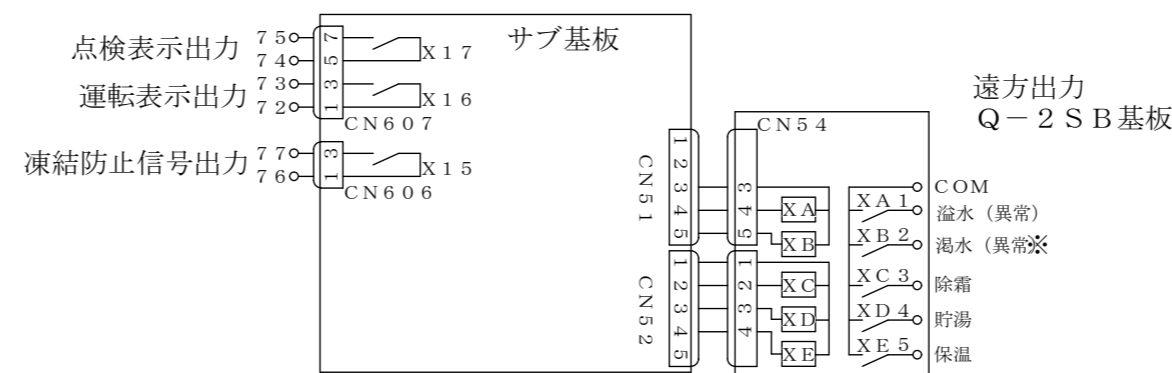
電気系統図



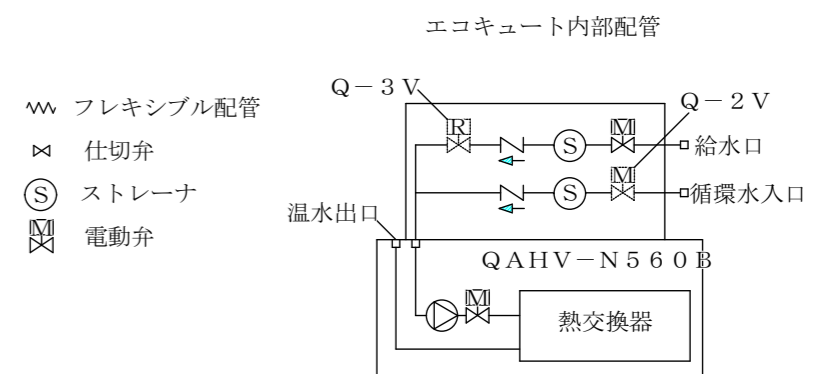
配管系統図



電気配線端子



※湯水（接点ON）時に給湯二次側ポンプを休止させる回路を設けてください。



●特記事項（衛生面関係）

●現場の施工に関して衛生管理に特に気を付ける為に、下記について留意し施工すること。

- ① 現場の作業については、工事担当職員及び日高中学校掛水教諭の確認の上、作業をする事（現場の作業計画については、現場作業開始の1週間前までに工事担当職員に提出し確認を求める事）。
- ② 調理器具に触る必要がある場合は、作業3日前までに工事担当職員と協議すること。
- ③ 作業靴：室内専用の靴を準備し、室内専用として使う事。
- ④ 外から持ち込む器具については、前もって洗浄した上で利用すること。
- ⑤ 状況に応じて、調理器具をビニール等で囲い、埃等が付きにくいようにすること。
- ⑥ 可能な限り作業員やその他施工するための道具等が通る道をブルシート等で作り、汚れ等がつきにくいようにすること。
- ⑦ 立ち入った場所については、工事担当職員に報告するとともに、作業に関係ない場所には立ち入らない事。
- ⑧ トイレを利用する場合は、来客者用トイレを使用すること。